

プロトコール名	1クールの日数	放射線治療
乳癌毎週パクリタキセル療法(連投)	7日	■なし □あり

投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)
-----	---------------

d1	<ul style="list-style-type: none"> ① デキサート注6.6mg+ファモチジン注20mg+生食50mL 点滴開始と同時にレスタミン錠10mgを5錠内服 ② 生食100mL ③ パクリタキセル80mg/m²+5%ブドウ糖液250mL インラインフィルターを用いて投与 ④ 生食50mL(フラッシュ用)
----	---

コメント	パクリタキセル投与30分前までにレスタミン錠50mg内服
------	------------------------------

プロトコールに関する解説

乳癌毎週パクリタキセル療法は、乳癌術前・術後化学療法において、パクリタキセルを毎週投与する治療法です。通常は、アンスラサイクリン系抗癌剤を用いた化学療法に引き続いて、パクリタキセルを12週連続投与します。本法と同等の再発予防効果が期待できる治療法に、ドセタキセルを3週毎に4サイクル投与する治療法があります。本法では特にトリプルネガティブ乳癌において再発予防効果が期待できます。点滴にはアルコールが含まれるため、アルコールに弱い方には使用できないことがあります。また、まれに点滴中に強いアレルギー症状を起こすことがあります。頻度の高い副作用として、手足の指先のしびれ感、関節痛、筋肉痛、脱毛などがあります。